

2024年度 埼玉県連合支部

日本工業大学工業技術博物館見学会 報告

2024. 11. 15(金)

主催幹事 さいたま支部

11月15日の施設見学会は、さいたま支部、川越支部、秩父支部から11名が参加して、日本工業大学工業技術博物館を見学しました。

この博物館には、明治から昭和にかけて産業の発展に寄与した歴史的価値ある工作機械等270台以上が、機種別、製造年代順に展示されており、約7割が動態(動かせる状態)保存で、178点が国の登録有形文化財となっているそうです。

各種旋盤、数値制御旋盤、万能フライス盤、数値制御フライス盤、マシニングセンタ、ガラス製水銀整流器、大きな発電用L高効率タービンなどが所狭しと、展示されていて、いくつか動かしてもらえました。

本館と別の蒸気機関車展示館には、イギリス製(明治24年作成)の蒸気機関車2109号(“2100形の10番目の機関車”)の実物が展示されていて、とても詳しく説明していただきました。

学芸員の五月女さんに、各機械の特徴をわかりやすく解説していただき、有意義な見学会となりました。

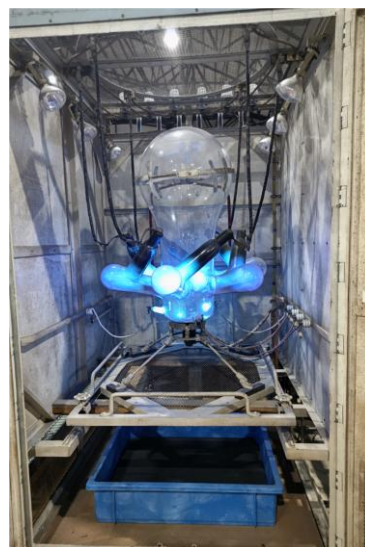


後列左から 松原(修56C) 畝(45E) 吉野(42M) 長谷川(52P) 麻生(53W) 藤井(37M)
前列左から 大竹(54L) 森本(54C) 井上(修54L) 長島(修51C) 小西(修49C)

この蒸気機関車2109号はまだ現役で動くとのことですので、驚きです。オープンキャンパス等の学校行事に動かすそうです。



蒸気機関車館から続く線路



ガラス製水銀整流器

《懇親会》

大宮駅に戻り、駅近くの「居酒屋大門」で18時から懇親会。

長島さんが初参加ということもあり、自己紹介を含め皆さんに近況を話してもらおう中で、質問も飛び交い、大いに会話が弾みました。



さいたま支部長 小西憲二(修49C)記